

〈特別会計決算状況〉

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	58億8843万円	58億4118万円
後期高齢者医療	5億4037万円	5億3945万円
介護保険	53億 605万円	50億9840万円
農業集落排水	7645万円	7357万円
公共下水道	1億4568万円	1億3096万円

〈企業会計決算状況〉

水 道 事 業	歳 入	歳 出
収益的収支	6億9693万円	6億6092万円
資本的収支	1億8000万円	5億3025万円

〈一般会計決算状況〉

歳入総額	223億2642万円
歳出総額	216億5645万円
不納欠損額	1601万円
収入未済額	6億1704万円
次年度繰越額	3億1397万円
実質収支	6億2797万円

問 現在3つの公民館をモデル地区としているがその進捗状況は。
答 10年間の地区振興計画を協議し、本年度3月までに計画書を作成し地区内全戸に配布する予定である。

市内各地区公民館のコミュニティ・プラットフォーム構築に向けて、指導・助言を行うための集落支援員の設置に係る経費。

集落支援員設置事業費

総務費

一般会計

地域交通対策事業費
(バス対策事業費)

6091万円

ひまわりバス及び予約型乗合タクシー試験運行に係る経費。

問 予約型乗合タクシー試験運行の結果、今後の方策は。
答 試験運行した路線では今年10月から実施していく予定である。



住んでみよう応援事業費

32万円

独身男女の出会い応援事業と出会いサポータークラブへの補助。

問 成果は。
答 出会いサポーター倶楽部を昨年7月に結成し会員を確保したが、カップル成立には至らなかった。出会い応援事業ではカップル13組が成立した。

特別会計

国民健康保険事業

委員会から

本市の国保税が高い(一人当たりの調定額は10万6千円で県内で一番高い)ことは、医療費が高い(一人当たり46万5千円、県平均43万円、全国平均36万2千円)ことに一因があると考えられる。医療費抑制に向け、さらに市民と一丸となつて取り組んでいただきたい。



健康教室「すっきりスリム大作戦」でメタボ予防を

民生費

老人福祉センター管理運営費

453万円

高齢者等の各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーションの利便に供する場としての老人福祉センターの管理運営に係る経費。

問 今後のあり方は。
答 施設の老朽化が進んでいることから知覧に集約するか、今後5カ年のうちに検討する。



老朽化が進んでいる願娃老人福祉センター

農林水産業費

知覧茶ブランド力強化対策事業費

2149万円

「お茶のまち・南九州市」としての知名度と、知覧茶ブランド力向上を図るため、まるごとにつぼん(東京浅草)への出展と、健康づくりの分野と連携したサプリメント新商品開発などに係る経費。

問 茶の価格低迷に伴う茶業農家の現状と将来展望は。
答 ここ数年厳しい中で、生き残る産地として経費削減、茶工場の再編、管理作業の協業化等対策を図り、継続的なブランド強化とPRに努めたい。

委員会から
南九州市にとって茶業の発展は欠かせない。茶業振興会と連携を図りながら将来的な展望を見据えた生産意欲の高揚を図っていただきたい。

消防費

消防施設費

8428万円

消防団の拠点施設の整備、防火水槽・消火栓の新設工事等に係る経費。

問 消防団再編の進捗状況は。
答 消防団の幹部会等に説明会を開催し、現在願娃方面隊青戸分団と新牧分団の再編に取組んでいる。

総括

委員会から
各施設の老朽化が進み莫大な管理費が必要となってくることから、事業存続を含めた今後の取り組みについて真剣に検討していただきたい。
また、少子高齢化に伴い地域の課題は様々なことから、各事業を見直し、今後の対策を図っていただきたい。

水道事業

農業集落排水事業

問 施設の経過年数と修繕の状況について。
答 供用開始から川辺東部が22年、知覧垂水が12年、知覧瀬世上が21年経過しており、大きな修繕もなく部分的な修繕で済んでいる。

公共下水道事業

問 今後も加入戸数の増加が見込まれる中、現在の施設の処理能力で対応できるか。
答 H27年度のピーク時において計画処理能力の6割程度で、十分余裕がある。接続人口4千人までは処理能力に問題は無い。



問 老朽化した配水管の更新計画は。
答 40年経過した老朽管が80キロメートルあり、年間約4キロメートル更新している。今後も漏水の多い地域、口径の大きい地域を優先して年次的に進めていく。

問 本年9月の台風災害では、千葉県において長期間水道の供給が停止している地域があった。本市の水源地の非常用電源の整備状況は。
答 今年度願娃地域、知覧地域の2か所を整備することで浄水場の整備率は100パーセントとなり、台風等により停電が発生した場合でも水を供給できる体制は整備されている。